

# つなぐ

## 避難所運営ワークショップを行いました！



↑齋藤先生による避難所運営についての講演とワークショップ



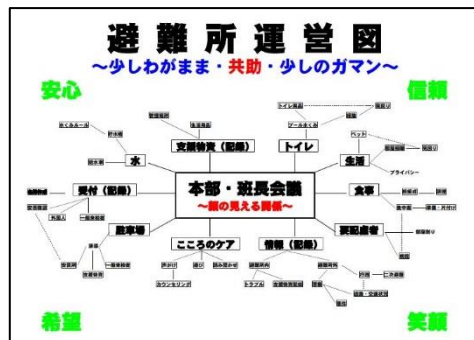
↑グループに分かれて避難所の役割を考えました



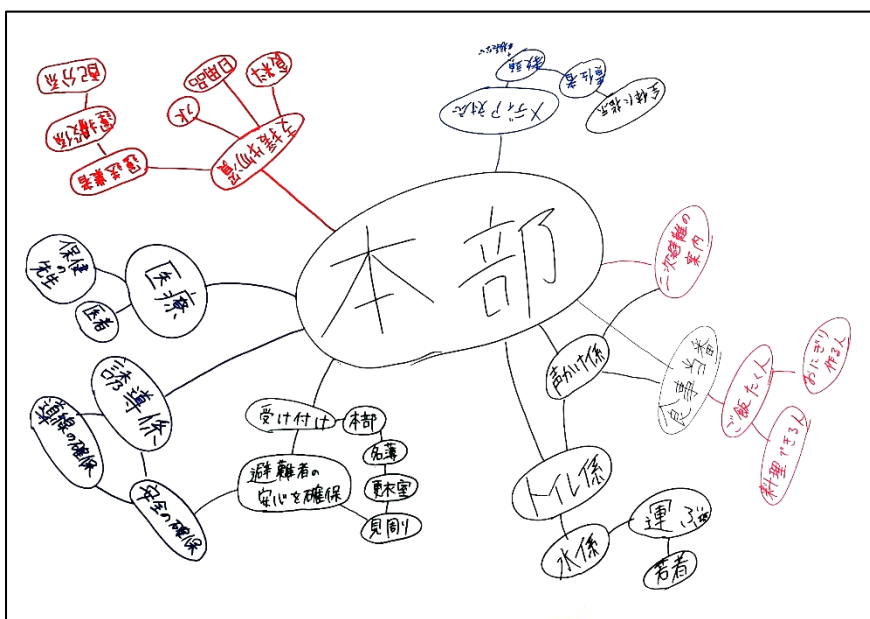
↑地域住民の方も先生方も一緒に考えました

6月12日のみやぎ県民防災の日に合わせて、6月10日(金)に全校生徒を対象に総合的な探究の時間で避難所運営ワークショップを行いました。元石巻西高校校長で東日本大震災発災当時は石巻西高校教頭であった齋藤幸男先生を講師に迎え、元涌谷消防署長の吉目木克彦さんをはじめ12名の町民の方と涌谷町総務課の2名の方も参加してくださいました。

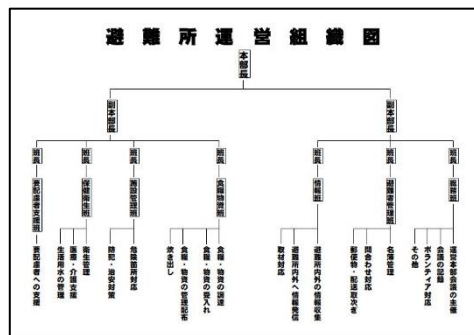
齋藤先生が避難所運営に奮闘した体験談を、当時の記録映像や写真を使いながら講演していただきました。その後、生徒・教員・地域の自主防災組織に所属している近隣住民の方々がそれぞれグループに分かれ、避難所運営の組織図を作成し、自分たちが何をすべきか、自分たちにできることは何かを考えました。



↑共助型避難所運営組織図【ウェビング(クモの巣状)】(発災直後～発災3日後)



↑生徒が考えた避難所運営組織図



↑公助型避難所運営組織図【タテ割】(発災3日後～)

## <生徒のコメント> (令和4年度防災学習振り返りシートより一部抜粋)

### ●学んだこと・気づいたこと・感じたこと


- ・ 涌谷町でもし災害があつて涌谷高校が避難所になったら、私も協力しようと思つたし、自分から行動できるようになりたいと思つた。災害がどれだけ危険なのかも改めて分かつたし、自分にできることも少しずつ考えていこうと思つた。
- ・ 子どもは大人に何かを気づかせたり笑顔にさせたりすることができると分かつた。避難所運営では、受付、誘導、調理、支援者の手伝い、マスコミ対応、医療などたくさんの役割が必要だと分かつた。自らできることを探し、共に支え合うことが必要だと思う。
- ・ 避難所を運営するためには多くの人の助け合いや役割がなければできないことが分かつた。人を1人でも多く助けるためにも正しい判断と多くのアイデアを生かして自分から行動することが大切だと思つた。
- ・ まず大人に従うという固定的な考えがあつたけど、実は、おかしいと思つたことや思いついたことなど積極的に言つた方が大人も動けるということを教わりました。災害時は上下関係なんてものはなくて共助が大切なんだなと思つました。
- ・ 11年前の震災を経験したが、自分の行つた避難所では色々な役割分担があつた。今後も大きな地震が起きないとは限らないから、動けるときは地域のために動きたい。

### ●自分自身にできる防災

今後災害が起きた時、または災害に備えて、あなた自身ができることにはどんなことがあると思いますか。  
(地震、津波、豪雨、洪水、暴風、土砂災害、豪雪、火山噴火、・・・)

	発 災 前	発 災 後
自 助	<p><b>自分ができる備え</b></p> <p>避難所の確認 / もしもの時をイメージしておく / 発災時に自分に何ができるか考える / 食料・水を貯蓄しておく / 避難するときに使う道を歩いてみる / 連絡手段を決めておく</p>	<p><b>災害が起きたときに自分ができること</b></p> <p>率先して避難する / イメージしていたことができなくても命を守る最低限の事はする / 避難所のルールを守る / 避難者の気持ちに寄り添う / 自分の事は自分でする / 避難所の受付・誘導 / 何でも良いから自分にできることをする / 避難所で大人の手伝いをする / 家族の安否確認</p>
共 助	<p><b>周りの人との協力・関わりでできる備え</b></p> <p>避難訓練 / 避難所での役割の確認・話し合い / マニュアルを作る・確認する / もしもの時の事をイメージしておく / 非常食の準備 / 情報を共有 / 近所の人との会話</p>	<p><b>災害が起きたときの助け合い</b></p> <p>役割を決めて柔軟に対応する / 心のケア / ボランティア(避難所運営・食料配給の手伝い) / 高齢者等を避難所へ誘導 / 互いに安否確認 / 優しい声かけ / 避難所の設備をみんなで作る / 地域の人たちと避難所での過ごし方を見直す</p>

涌高のHPでも見られます。

涌谷高校 学校だより 



防災担当：津守